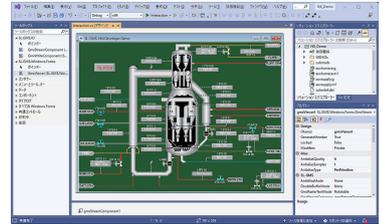


謹賀新年

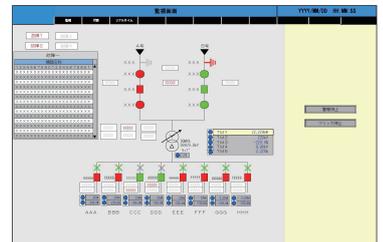
旧年中は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございました。
本年も変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

2024年 ニュースイベントピックアップ(それぞれをクリックして詳細へ).....

- 1月31日～ オートメーションと計測の先端技術総合展「IIFES 2024 ONLINE」に出展:
SL-GMS (C++, Java, .NET, HTML5) で、
中央制御室から、Web で遠隔監視、クラウド運用ダッシュボードまで
- 2月13日 [SL-GMS .NX/Developer と .NX/Custom Editor 新バージョン 2.0a で .NET 8に対応: \[右画面\]](#)
制御室からWebによる遠隔監視、クラウド運用ダッシュボードまでのSL-GMSフルラインアップにおける「次世代監視制御システム (DCS/SCADA)」の開発
- 4月16日 [通研電気工業が、受電設備監視操作盤からの情報を遠隔監視できるようにした新しい「簡易型監視システム」の開発で、RTViewを採用: \[右画面\]](#)
ビルダーでカスタム構築したグラフィック表示操作画面を、RTViewのディスプレイサーバ機能でWebブラウザ運用
- 8月27日 [SL-GMS ライブ Web セミナ開催:](#)
.NET 8に対応したSL-GMS .NX 新V2.0aによる次世代制御システム(DCS)の開発と、HTML5版SL-GMSによるWeb運用について、ユーザ事例とデモンストレーションを交えながら、DCSの開発と運用動向を可視化という観点からまとめました。
- 8月28日 [RTView 新バージョン 7.6をリリース: \[右画面\]](#)
ポイント&クリック操作でカスタム構築できるリアルタイムなグラフィック監視ダッシュボードのWebブラウザ運用を一層強化
- 9月2日 [工業技術社出版の月刊「計装」2024年9月号\(9月1日発行\) Vol.67 No.9において、SL-GMSに関連した記事掲載 \(p.18-21\):](#)
「グラフィックな可視化技術が拓くリモートオペレーション」
SLの突出したグラフィックな可視化技術が、いかに制御室を越えて柔軟なリモートオペレーションを拓いてきたかを、国内ユーザ事例の数々からまとめた記事
- 9月18日 [HTML5コード変換をさらに拡張したSL-GMS Web/Developer 新バージョン 4.2aをリリース: \[右画面\]](#)
グラフィック系統図など制御室と同じ高対話性の操作画面をWeb化し、比類なく高い性能でブラウザ運用
- 9月26日 [外部クラウドで運用しているSL-GMS Web/Developer \(HTML5\)のデモサイトを新V4.2aで更新、多彩なグラフィック機能にアクセス操作可能: \[右画面\]](#)
各種プロセス監視、宇宙センター発射管制、基本的なダイナミクス(動的属性)、グラフとテーブル、カスタムデータ、IoT監視ダッシュボードなど
※ユーザ様にはログイン情報をメールでご案内しています。
その他のお客様は、お問い合わせページでご請求ください。
- 12月26日 [SL ジャパンは、2024年度\(12月決算\)利益の一部から、日本赤十字社に300,000円を寄付しました。](#)
2011年以来、長年の寄付活動を続けています。



.NET 8のVisual Studio 2022を使って、SL-GMSDrawで作成したグラフィック画面のアプリケーションを開発



★Newsletter No.78
で事例掲載

東北電力企業グループの通研電気工業(株)様のRTView事例より



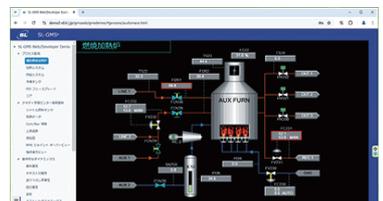
RTViewのディスプレイサーバによってiPhoneでブラウザ運用される高対話性のWebシンクライアント



月刊「計装」2024年9月号でSL-GMSの記事掲載



SL-GMS Web/Developer 新V4.2aのNumericUpDownコントロールを追加したIoT監視ダッシュボード画面



SL-GMS Web/DeveloperによるHTML5デモサイト

監視制御システム (DCS/SCADA) のダイナミック GUI と固有カスタムエディタの開発で、最も容易な移行を長年支え続けてきた SL-GMS (C++, Java, .NET, HTML5)

2025年1月10日 ニュースリリースより:

SLジャパンは、C++, Java, .NET, HTML5のそれぞれで提供している SL-GMS の最新バージョンで、クオリティアシユアランスによるテストを経て、Windows Server 2025 を正式サポート追加しました。

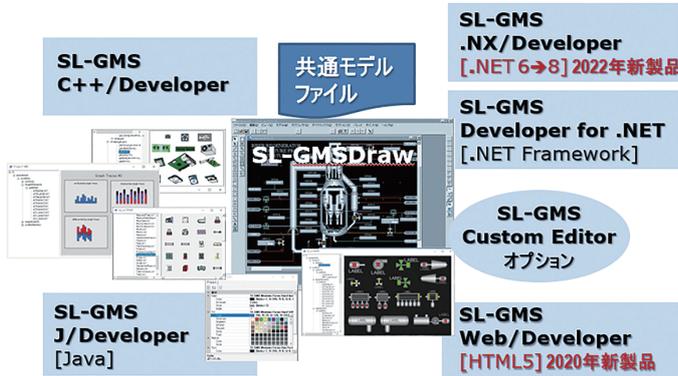
UNIX から Linux, Windows へ、32 bit から 64 bit ネイティブ化、C/C++ から ActiveX, Java, .NET Framework, HTML5, .NET 8 へ展開してきた SL-GMS では、1983 年以來 40 年以上にわたり、共通の SL-GMSDraw エディタで開発した動的グラフィックモデルと SL-GMS の API は SL-GMS バージョンならびに OS バージョンで上位互換性を保持してきました。さらに、異なる OS プラットフォームやフレームワーク間においても動的グラフィックモデルの互換性を提供し、ライフサイクルが 10 年前後におよぶ高度な制御システムのハードウェア更改を支援してきました。

Windows Server 2025 が追加サポートされた SL-GMS の最新バージョンは次の通りです:

- ・SL-GMS .NX/Developer, Custom Editor for .NX オプション (.NET 8) V2.0a
- ・SL-GMS Developer for .NET, Custom Editor for .NET オプション (.NET Framework) V5.4a
- ・SL-GMS C++/Developer, Custom Editor オプション V7.2a
- ・SL-GMS Web/Developer (HTML5) V4.2a
- ・SL-GMS J/Developer (Java) V4.6a

☆ニュースリリース全文はこちら: https://www.sl-j.co.jp/newsevents/newsrelease/2025/sl_j_news_250110.shtml

SL-GMS 各製品で共通の SL-GMSDraw ダイナミックグラフィックエディタ:



★長年培ってきた描画技術とコード生成技術により、比類なくコンパクトで高速なコードを生成: Java コードジェネレータ (1998年) → HTML5 コードジェネレータ (2020年)

RTView 技術資料@ドキュメンテーションサイト

さまざまな構築技法と機能活用で参考になる豊富な技術資料を、RTView ドキュメンテーションサイトで定期的に追加発行

RTView ドキュメンテーションサイトでは、カスタム監視ダッシュボードの開発に役立つさまざまな構築技法と機能活用方法を、技術資料としてまとめ、それぞれすぐに使えるサンプルコードとともに、年3回の Newsletter 発行のタイミングで定期的に追加しています。

以下、直近5年分のみをご紹介します:

- シンククライアント運用でのオーディオファイルの再生 (2025年1月)
- グリッドオブジェクトを使ったビジュアルナリストの作成 (2024年9月)
- 「セルフサービスアラート」デモ日本語版 (2024年5月)
- 「アラート」デモ日本語版 (2024年1月)
- 「チュートリアル」デモ詳説 (2023年9月)
- トレンドグラフからドリルダウンする例 (2023年5月)
- テーブルデータの表示処理例 (2023年1月)
- バンドルされている HSQLDB の使い方 (2022年9月)
- ロールベースセキュリティ機能の活用 (2022年5月 改訂)
- RTView ディスプレイサーバによる運用 (2022年1月)
- 背景に SL-GMS モデルを利用する方法 (2021年9月)



(2021年5月) オブジェクトグリッドでカスタムオブジェクトを利用 (左)
(2024年5月) セルフサービスアラート機能によるアラート詳細テーブル (右)

- カスタムオブジェクトを追加する方法 (2021年5月)
- RTView サーバを Windows サービスとして実行する方法 (2021年1月)
- CsvJdbc を使った CSV ファイルの読み込み (2020年9月)
- RTView クックブック (2020年5月)
- 同一コンピュータ上で複数の RTView ディスプレイサーバを起動する手順 (2020年1月)

Real-Time Visibility



株式会社 SL ジャパン

〒107-0061 東京都港区北青山2-12-8 BIZ SMART 青山
Tel. 03-3423-6051 info@sl-j.co.jp www.sl-j.co.jp

年3回発行 2025年1月14日発行 通巻 80号

◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。